

賛助会員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

ご投稿をお待ちしています

「藻類」は皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やその他の報文（記事等）のご投稿もお待ちしております。ご投稿に際しましては、次頁の投稿案内をご覧ください。（編）

編集後記

これまでの和文誌藻類をペラペラと捲っていると、石川依久子先生の記事や写真が多数ある事に気づきます。最近ですと、ちょうど1年前の2014年7月号の日本藻類学会船橋大会のアルガムビー鑑賞会の参加者記念撮影に先生の楽しいお顔を拝見することができます。

和文誌藻類のシリーズ「最終講義」もご執筆されていて (Jpn.J.Phycol.47:23-27, 1999), 若かりし日のかわいらしい

お写真とともに、女性研究者としての苦勞から将来の藻類研究への不安まで、先生らしい語り口で綴られています。「生き物に愛着と感動を」、「生物を謙虚で豊かな感性で見続けて」など、先生の熱い想いが伝わってきます。

お茶大の私の研究室にも何度か足を運んで頂き女子学生に、そして私にメールを送って頂きました。ご投稿された論文について、つい先日もお電話頂いたのに。残念でなりません。お悔やみ申し上げます。（寫田 智）

表紙

緑藻カサノリ *Acetabularia ryukyuensis* Okamura
藻体上部の "傘" に休眠孢子が形成されている

作成者

寫田 智 (お茶の水女子大学)

作成者より

石川依久子先生に教えて頂き、沖縄県八重瀬町波名城のカサノリ群落に初めて出会うことができ感動し、研究室に持ち帰った藻体に次世代へ繋がる休眠孢子が形成されていた事にも感動し、撮影したものです。